

■ サザンカ・・・



さざんか さざんか 咲いた道
たき火だ たき火だ 落葉たき
あたろうか あたろうよ
しもやけ おててが もうかゆい

童謡「たき火」の2番の歌詞です。寒くなると、誰もが口ずさみたくなる歌の1つですね。ちょうど落ち葉の季節から咲き始め、冬の寒い時期に私達を楽しませてくれる花の代表がサザンカです。当団地では、8号棟の北から西側にかけての生垣に植栽されています。ただ残念なことに、花芽のできる夏以降に剪定したのでしょうか、まばらに花を見るにとどまっています。

漢字表記の「山茶花」は、中国語でツバキ類一般を指す山茶に由来し、サザンカの名は山茶花の本来の読みである「サンサカ」が訛ったものと言われています。また、「茶山花」と書いて「ササクワ」と読ませていたものが「山茶花（サザンカ）」になったという説もあります。

ところで、誰もが疑問に思うことの1つに、ツバキとサザンカはどう違うのかということがあります。一般的には、花の咲く時期が違うことや、ツバキはポトリと花全体が落下するのに比べ、サザンカは花弁もおしべもばらばらに散ることが挙げられます。しかし、現在は品種改良と交配が進んで、そのほとんどが両者の掛け合わせによる園芸種なので、野生種でない限り、厳密な違いを指摘することはできません。ただ、サザンカの葉柄や若枝などには細かい毛がたくさん生えていますから、それで見分けるのがベストでしょう。

学名は、ツバキが「*Camellia japonica*（カメリア・ジャポニカ）」、サザンカが「*Camellia sasanqua*（カメリア・サザンカ）」ということからも分かるように、ともに日本原産の植物です。カメリアとは、ツバキ属の総称ですので、9号棟南の「ツバキ園」は、サザンカ系も沢山混じっていることから「カメリア・ガーデン」の名称の方がいいように思います。

そう言えば最近、「椿姫」にちなんだ「カメリア・コンプレックス」という言葉を耳にすることがあります。不幸な女性を見るとつい救ってしまいたくなる男性の心理を言うようですが、自身に思い当たる方もいらっしゃるでしょうか。

最後に、冒頭の歌「たき火」の発祥地は中野区上高田（東西線「落合」駅近く）です。現地に赴くと、「発祥の地」の立て札のある民家がありますので、興味のある方は一度お出か

てください。また、この歌が戦時中、放送禁止だったことも有名な話で、理由は、「落ち葉は貴重な資源であり、風呂焚きに使用可能であるとともに、たき火は敵機の目標にもなる。」というものでした。最近では、ダイオキシン問題から禁止されていますが、それよりもっと恐ろしいことは、最近の子どもたちが誰一人として、この歌を知らないことです！！